

こころ

第55号

令和元年 5 月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院グループの理念・基本方針 ◆

理 念

敬天愛人

基本方針

1. 地域の皆さまの尊厳を護り、心の通う医療と介護を実践します。
2. 自己研鑽に努め、自らと組織の発展向上を目指します。
3. 地域連携を進め、効率的に働きます。
4. 地球環境に留意し、災害に備えます。

平成から令和へ～激動の時代の予感

院長 山口 龍彦



昨年暮れの最後の天皇誕生日に平成天皇より賜わったお言葉の中に、「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています。」という一文がありました。私たちの世代は、責任を持って令和の時代も戦争のない平和な時代としなければなりません。しかし、広く世界を見渡してみると、ただ平和を唱えていれば自動的に平和が維持されたり、日本国民の一人ひとりが幸せを享受できるのではないことがわかります。

さて70数年前、ナチスドイツがアウシュビッツなどで行なっていた非人道的・非人間的なユダヤ人の迫害に反対し、国策としてユダヤ人を救い出したのは世界で唯一日本でした。日本国内外における反日感情の背景には、当時の日本とドイツは同盟関係にあったため、大戦時の日本をナチスと同一視する歴史観があるようですが、それは間違っています。八紘一宇（全ての民族が一つの家族のように仲良くする）の精神のもとに、人種差別を行わず、例え同盟国の要請であろうとユダヤ人を迫害から守ろうと尽力したのが日本です。

杉原千畝というリトアニアの外交官だった方が有名ですが、彼以外にも満州国境に押し寄せたユダヤ人を救出した樋口季一郎少将、その上官であった東條英機関東軍司令部参謀長、ユダヤ人を満州鉄道で移送した松岡洋右満州鉄道総裁などもユダヤの難民たちを救った人たちとしてユダヤ人から尊敬されています。

今、日本のメディアでも少しずつ報道されるようになってきていますが、お隣の大国が自国民であるウイグル族をアウシュビッツと同じような収容所に入れて迫害しているのをご存知でしょうか。また、法輪功という宗教に属する人たちを何万人という単位で逮捕収容し、年間10万件以上に及ぶ臓器移植の臓器供給源としているのをご存知でしょうか。

アメリカのペンス副大統領は、昨年10月4日、米国のシンクタンク、ハドソン研究所にて50分に渡る中国政策についての演説を行い、その中で、中国が国内のキリスト教の教会を取り壊し、十字架を破壊し、

聖書を燃やし、信者を投獄していることを非難しました。司教の任命もバチカンではなく、中国共産党が行うことになったことはクリスチャンにとって絶望的な時代だと言いました。

また、無神論の中国共産党は仏教も厳しく取り締まり、過去 10 年間で 150 人以上の僧侶が共産党による信仰と文化への弾圧に抗議するために焼身自殺をしていることも指摘しています。ウイグル族についてはイスラム教を捨てさせるために、100 万以上の人が（実際は 200 万とも 300 万とも伝えられている）収容所に入れられて 24 時間の拷問を受けていることもアメリカの副大統領の口から述べられたことは、大変大きなことだと思います。

令和元年 5 月 10 日、米国は中国に 2000 億ドル相当の輸入品に対する関税を 10% から 25% へ引き上げ、中国と米国の貿易戦争が目に見える形になってきましたが、これはトランプ政権が本気で中国共産党と対決を始めたことを意味しています。この戦いは、経済戦争だけに終わることはなく、中国の政府が無神論に基づく宗教弾圧や自国民の迫害、そして周辺国に対する覇権主義を止めるまで続くはずで、覇権を争う両国の間に位置するのが日本ですが、日本の政府は、今まで八方美人でどちらにもいい顔をしてきました。これからはどちらに正義があるのかを見極めて、正しい身の対処を求められると思います。

日本を貧しくしてきたグローバリズムが正しいわけでは決してありません。日本の経済的利益が最優先でもありません。勇気を持って、正しいことを発信すること。しっかりと効率的に働いて豊かになること。その豊かさを使って、虐げられているチベットやウイグルの人々のために行動すること。そして、日本国民や台湾、東南アジアの国々までを北朝鮮や中国の核ミサイルの恐怖から守ること。アジアを欧米列強の植民地から解放した太平洋戦争の苦難の時代を経て、今再び日本に求められている役割は大きいものがあると思います。現代にもアウシュビッツがあることを知った以上、その悪を放置したり、見なかったことにするのは悪の側につくということです。日本人は正義の側について悪と戦い、独裁者たちにこれ以上の悪を犯させないようにしなければなりません。令和は激動の時代となりそうです。



掲示板

転倒予防

リハビリテーション課 安芸 真奈

〇転倒は要介護の原因

高齢者の介護が必要になった原因として、「骨折・転倒」は、認知症、脳血管障害、高齢による衰弱に次いで 4 番目に多い原因となっています。（平成 28 年国民生活基礎調査より）

転倒は若い人なら軽いケガで済んでも、高齢者にとっては大きな事故につながる場合があります。また骨折やケガがなかったとしても、転倒に対する恐怖心が芽生えて身体を動かさなくなり、身体機能の低下を招く場合があります。

〇転倒を防止するためのポイント

①転倒しにくい環境づくり（転倒・転落事故の多くは安全と思われる室内で起きています！）

段差の解消、手すりの設置、明るい照明器具の設置、引っかかりやすいカーペットなどの除去、など

②転ばない身体、生活を心がける（“まだ若いから大丈夫”といった過信や油断は禁物！）

足の筋力、バランス、柔軟性を保つ、服用している薬の副作用を知っておく、など

上記のことは高齢者本人だけでなく、一緒に暮らす家族や近所の方など、身近にいる方々も意識し注意しておくことが大切です。
転倒せず、元気にいきいきとした生活が送れるよう、十分に備えておきましょう。

※ご心配な点がございましたら一度主治医にご相談ください。



院内行事

グループホームこうせい お花見

ケアマネ 谷瀬 こずえ

3月末から4月初旬にかけて、お花見に行きました。寒い時期は外出を控えていたため、久しぶりに外の空気にふれ、皆さん気分転換になった様子でした。桜の花など、色とりどりの景色を見て「綺麗なねえ」と笑顔で喜ばれていました。

また、暖かい日に屋上でおやつや昼食を食べました。いつもと違う環境での食事に、皆さん食が進んでいました。

これから過ごしやすい季節になりますので、定期的にドライブや屋上での食事を行い、気分転換が出来るよう、日頃と違う環境で過ごす機会を設けて行ければと思います。



お花見会

介護老人保健施設こうせい 看護師 乾 加奈子



4月10日 老健にてお花見会を行いました。ジュースやコーヒー、綿あめを準備しご家族、入所様に喜んでいただきました。

催し物はカラオケを楽しみました。最後に、思いがけず入所様より感謝の言葉を頂きスタッフの励みになりました。

今後もこのような催し物を続けていきたいと思っています。



新採用者オリエンテーション

看護部長 岩本 泉

平成31年4月3日、4日に新採用者のオリエンテーションを開催いたしました。

昨年12月から今年4月の採用者を対象に、院内職員、併設のグループホーム、看護小規模多機能型居宅介護の職員も出席しました。

毎年、理念や基本方針、また今年度の目標を新たな気持ちで話すことは、講師側にも緊張感が生まれ組織力の強化につながったと感じました。新しく仲間に加わった職員たちと共に手を携えてよりいっそう良質な医療や看護、介護を提供し続けたいと思います。お互いを思いやり働きやすい職場であり続けましょう。





【新しい時代】

皆様初めまして。平成31年4月1日より医療法人山口会の経営企画室で働かせて頂いております廣松と申します。経営企画室というのは、社会の「変化」に対応していく為に私の入職と同時に新しく出来た部署になります。聞きなれない部署名だと思いますが、経営全体を「全体最適」でマネジメントし病院の方向性、ビジョンを形創り、そして、経営者の意思決定をサポートする為に、院内外の環境変化を予測し、当院の強み弱みを把握して、適切な戦略を立案し推進することなどです。その中でも最も大きな仕事は中長期戦略の策定並びにその目標にむけてどのように施策を行っていくかということになります。

難しいワードが多くなってしまいましたが、シンプルな言葉で表わすと、「地域の皆様に必要とされる、愛される病院」を時代の変化に対応しながら目指していくという事に尽きます。

これからの時代は「変化」していく事でしか生き残れないのだと思います。その変化に対して瞬時に対応する為に、情報を多くインプットし情報弱者にならないように、日々、自己研鑽に努めアウトプットし続ける事が必要です。



診療実績報告

平成30年度 (H30.4~H31.3)

外来患者延数	29,046
新外来患者数	925
1日平均外来患者数	99.1
入院患者延数(老健含む)	23,217
病床利用率(老健含む)	90%
訪問看護ステーション利用者延数	4,835



当院は平成15年9月22日より日本医療機能評価機構認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人日本緩和医療学会より認定研修施設として認定されました



◆ 厚生労働省より医師の卒後臨床研修施設の認定を受けました

皆様に愛される高知厚生病院となれるように自らと組織の発展向上を常に意識し、努力してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

編集後記

京都へ娘と出かけました。東寺や、三十三間堂等、バスと歩きで廻りました。

あちこちと歩いたので、1万3000歩位歩いてさすがに疲れましたがリフレッシュする事ができました。A.I



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>

■ 介護老人保健施設こうせい ■ 通所リハビリテーションこうせい

Tel.088-882-6205

■ 訪問看護ステーションこうせい ■ 高知厚生病院健診センター

Tel・Fax.088-885-6714

■ 居宅介護支援事業所こうせい

Tel・Fax.088-885-5779

医療法人 山口会

こうせい

〒781-8121 高知市葛島2丁目5-12 Tel.088-802-5530 Fax.088-802-5531

■ 看護小規模多機能型居宅介護こうせい

■ グループホームこうせい